専大スポーツ　No. 315

大会結果、予定は体育会ホームページ（専大ホームページ「スポーツ」からアクセス）でご確認ください
専大スポーツ編集部 web（http://sensupo.web.fc2.com/）でも大会結果を配信しています

フェンシング・関東学生リーグ戦

女子サーブル 盤石の全勝優勝

全日本学生王座へ視界良好

▶主将としてチームを盛り上げた竹田

5月8日から15日まで、関東学生リーグ戦が駒沢公園屋内球技場で行われた。女子がサーブルで全勝優勝し、上位2校が出場できる全日本学生王座決定戦（6月17日、中央大学八王子体育館＝以下、全日本学生）の出場権を獲得した。

サーブル優勝の立役者である竹田悠里（経済4・米沢東高）は、「最初から優勝を狙っていた。チームワークがよく、終始笑顔でプレーできた」と語った。優勝の手応えを感じた試合として早大戦を挙げ、「昨年と同じく一本勝負になったが、絶対に勝てると思った」と振り返った。全日本学生に向けて「王座を取りにいきたい」と意気込んだ。

このほか、女子はフルーレ3位、エペ5位で、総合でも2位となった。

また男子は、エペ2位（全日本学生出場権獲得）、サーブル3位。フルーレで6位となったものの、総合は3位。

なお、男子フルーレは、5月25日に台東リバーサイドスポーツセンターで行われた2部1位の中大との入れ替え戦に臨み、41―45で敗北。この結果、2部降格が決まり、来季は1部復帰を目指す戦いになった。

（青木　宏平・経営3＝写真も）

全国サーブルチャレンジカップ

ジュニア男子 張眞が優勝

また、全国サーブルチャレンジカップの今年度第1回（年5回開催）が5月19、20の両日、国立スポーツ科学センターで行われ、ジュニア男子の部で張眞龍太（経済2・玉野光南高）が優勝。同女子で百崎千裕（ネット情報1・佐賀商高）が準優勝した。

▶優秀選手賞と敢闘賞をダブルで受賞した王凱

卓球・春季関東学生リーグ戦

男子2位、女子4位

王と劉が優秀選手賞に

5月4日から16日まで、春季関東学生卓球リーグ戦が横浜文化体育館ほかで行われた。男子は5勝2敗で2位、女子は3勝4敗で4位の成績で終えた。

優秀選手賞に男子の王凱（商2・新潟産大附高）と女子の劉莉莎（商2・日南学園高）が選ばれ、王は敢闘賞とのダブル受賞となった。

男子主将の田中健奨（商4・滝川第二高）は「今までで一番よい成績だったが、優勝を目標に練習していたから悔しさもある。次の関東学生選手権は個人戦なので、一人ひとりが目標を持って、戦っていきたい」と話した。

関東学生新人選手権

男子シングルス 松浦が3位

5月24、25の両日、所沢市民体育館で行われた関東学生新人選手権では、松浦佑紀（経営1・武田高）が男子シングルスで3位入賞を果たした。

また、女子シングルスでは崎野澄音（人間科学1・東奥学園高）がベスト8入りした。

（橋本　里恵・文3＝写真も）

▶4勝を挙げた平井（右）・山田真央（文3）ペア

バドミントン・関東大学春季リーグ戦

昨秋上回る3位に

後半戦の追い上げ光る

4月21日から5月3日まで、関東大学バドミントン春季リーグ戦が日体大健志台キャンパス米本記念体育館ほかで行われた。昨秋のリーグ戦で4位の専大は、今リーグで3勝2敗の3位となり順位を一つ上げた。

リーグ戦はシングルス3戦、ダブルス2戦の結果で勝敗が決まる。法大と日体大の両校に2―3で連敗するも、第一シングルスの平井亜紀（商3・高松商高）がストレート勝ちで勝負の流れを変え、青学大に4―1、筑波大に3―2、早大に3―1で3連勝し、追い上げた。平井は「やっと4位の壁を越えることができてよかった。『次こそは優勝したい』という思いを、チームで共有するきっかけとなった」と話した。（橋本＝写真も）

水泳・ジャパンオープン（女子）

400㍍自由形 岩永が2位

競泳のジャパンオープン2012が5月25日から27日まで、東京辰巳国際水泳場で行われ、岩永美里（経営4・八王子高＝写真）が400㍍自由形で2位（4分15秒22）となった。

岩永は同800㍍でも4位。またオリンピック代表選手が上位を占める中、笹木愛恵（文2・湘南工大附高）が50㍍平泳ぎで6位入賞を果たした。

岩永は今回の結果について、「両種目とも自己ベストを出そうと挑んだが、あまり納得のいくタイムを出すことができなかった」と悔しさをにじませた。しかし、今まであまり得意ではなかった400㍍で結果を残したことについて、「タイムはあまりよくなかったが、入賞できたことで、400㍍に対して自信がついた」と語った。

大学生活最後のシーズンを迎え、「これからの試合は、一番よい結果で終わりたい」と力強く話した。（横谷　美遥・ネット情報3＝写真も）

▶攻守に活躍したルーキー・藤中（撮影＝村上）

バレーボール 春季関東大学リーグ入れ替え戦

2季ぶり1部復帰

国際武道大に圧勝

5月27日、駒澤大学玉川キャンパス体育館で春季関東大学バレーボールリーグ戦の入れ替え戦が行われた。男子2部1位の専大は、1部10位の国際武道大と対戦。ストレート勝ちで2季ぶりの1部復帰を決めた。

序盤こそ流れをつかめずに点差を広げられたものの、タイムアウト後は山本湧（商2・東亜学園高）、藤中謙也（経営1・宇部商高）が相手の攻撃をことごとくブロック。一気に点差を縮め、長友優磨（商3・都城工高）の連続得点で逆転すると、そのまま第1セットを先取した。

続く第2セット、第3セットも専大がリード。相手のスパイクを確実にブロックし、攻撃につなげる攻守に息の合ったプレーを披露した。

長友は「入れ替え戦に向けて実戦練習を積んできた。昨秋の降格で味わった悔しさをバネに、チーム一丸となって頑張れた」と今季を振り返った。吉岡達仁監督は「1部復帰はあくまで通過点。秋季リーグで実力を発揮したい」とすでに秋へと目を向けた。

昨年に比べ、実力のある1年次生が多く加わり、攻撃力が増した。選手たちは1部での活躍に向けて早くも意気込みを見せている。今月下旬から開催される東日本大学選手権、そして秋季リーグに期待が高まる。

（山内　夏穂・人間科学3）

Sports カレンダー

◇サッカー部

▽総理大臣杯全日本大学トーナメント（1回戦）

7月8日　対日本経済大（大阪・J-GREEN 堺）